

**CASBEE-広島 2014年版**  
**(仮称)宇品神田マンション**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.39</b>		-			<b>3.7</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.0</b>	0.15	<b>3.3</b>	1.00			<b>3.0</b>
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		1.0	0.50	3.7	0.50			
1 開口部遮音性能	住居部AWIはT-1使用	1.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能	住居部はコンクリート200mm、DR-50以上	-	-	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	Lr-45を想定	-	-	4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	Lr-50を想定	-	-	4.0	0.20			
1.3 吸音		-	-	-	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>1.0</b>	0.35	<b>5.0</b>	1.00			<b>4.1</b>
2.1 室温制御		1.0	1.00	5.0	1.00			
1 室温		-	-	-	-			
2 外皮性能	省エネルギー等級4	1.0	1.00	5.0	1.00			
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		-	-	-	-			
2.3 空調方式		-	-	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.3</b>	0.25	<b>3.7</b>	1.00			<b>3.4</b>
3.1 昼光利用		1.8	0.30	4.4	0.50			
1 昼光率	2.0%以上	1.0	0.60	5.0	0.71			
2 方位別開口		-	-	-	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.29			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	3.0	0.50			
1 昼光制御	住居部はカーテン、庇	2.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>4.2</b>	1.00			<b>3.9</b>
4.1 発生源対策		3.0	0.60	5.0	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を採用	3.0	1.00	5.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>					<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>		<b>1.9</b>	0.40	<b>3.4</b>	1.00			<b>3.1</b>
1.1 機能性・使いやすさ		1.1	0.40	4.0	0.60			
1 広さ・収納性	管理入室9㎡以上	4.0	0.04	-	-			
2 高度情報通信設備対応	住居部に光ケーブルを導入可能	-	-	4.0	1.00			
3 バリアフリー計画		1.0	0.96	-	-			
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.5	0.40			
1 広さ感・景観	住居部の天井高2.5m以上	-	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い仕上げ	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	清掃用具の洗い場を1階共用部に確保	4.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.2</b>	0.30					<b>3.2</b>
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.8	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	性能評価 劣化対策等級3	5.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	外壁タイル	5.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性			2.8	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	光ケーブル対応	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			2.6	0.30	2.8	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50	
1	階高のゆとり	階高2.96m	-	-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.6	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		1.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.31	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー等級4	5.0	0.18	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) -	3.6	0.52	-	-	3.6
集合住宅以外の評価(3a.3b)			1.0	0.12	-	-	
集合住宅の評価(3c)			3.6	0.88	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.21	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水便器、節湯水栓の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		RC壁 内装壁GL工法	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.8	0.20	-	-	3.8
3.1 有害物質を含まない材料の使用		特定化学物質を使用しない	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.70	-	-	
1 消火剤		使用無し	4.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.33	-	-	
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出量の削減	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制		自転車置場、駐車場の確保	4.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		広告照明等なし	4.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	